

# 復興へ、ともに

50

このコーナーでは全国の地方公共団体から  
南三陸町に派遣されている職員を紹介します。



【氏名】高井一輝

【派遣元】埼玉県さいたま市

【所属】保健福祉課  
(社会福祉係)

今年の4月から保健福祉課にて障害福祉業務を行っています。初めての東北での生活ですが、派遣されてから半年が経ちようやく慣れてきました。これから冬の寒さには不安はありますが、微力ながら皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



【氏名】姫野覚哉

【派遣元】神奈川県川崎市

【所属】建設課  
(土木建築係)

20代最後の年を南三陸町で過ごせることを光栄に思います。昼休みに海沿いを走っている自分を見かけたら、どうか温かい目で見守ってあげてください。



【氏名】日野精二

【派遣元】兵庫県

【所属】産業振興課  
(水産業振興係)

4月の赴任からあっという間に半年が経過しました。とても恵まれた環境で業務に取り組めています。「兵庫県から派遣があって良かった」と思つていただけるよう、これまでの経験を活かして頑張りたいと思います。



【氏名】黒野貴志

【派遣元】埼玉県新座市

【所属】環境対策課  
(廃棄物対策係)

環境対策課にて廃棄物対策業務に従事しております。東北の寒さを日々感じながら、美味しいモノをたくさんいただいています。残りの派遣期間の間に、また違う南三陸町の魅力を見つけ、派遣元に広げていきたいと思います。短い間ではありますが、よろしくお願ひいたします。

## 文化財探訪

文化財を見て歩こう！

町指定 史跡

唐船番所跡 歌津字尾崎



泊崎突端に行く途中の左方台地にあるのが唐船番所跡です。

唐船番所は外国船の監視所で、泊崎の番所は正保3年（1646年）2代藩主伊達忠宗のときに設置されました。江戸時代、徳川幕府は鎖国政策をとり、わが国への外国船の渡来を禁止しました。そのため仙台藩は海岸の要所に番所を設置し、海岸に外国船が見えたときは打払うよう指示したのです。この場所は外洋に突出しているため船の往来を見張る場所として適当であり、その監視範囲は気仙沼から泊崎まで7里16町48間（29.3キロ）の区間でした。

仙台藩領では泊崎のほか八ヶ森（大船渡市）、鮎川（石巻市）、大浜（東松島市）、磯浜（山元町）の計5ヶ所に唐船番所を設置し、明治2年1月の停廢まで見張りを続けました。

### ご存知ですか？ 文化財保護のこと

土地に埋もれている昔の建物跡やそれに伴う土器・石器などは町の大切な文化財です。一旦壊してしまえば二度と元に戻すことができません。これから住居の新築や土地の造成・改良などをお考えの場合は、必ず教育委員会にご一報ください。

問い合わせ

教育委員会生涯学習課文化財担当

☎46-2639 FAX 46-2607